学校番号	105

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ソルフェージュの授業では、ピアノに携わる進路を目指している生徒、よりピアノを専門的に学びたい生徒を対象に、ピアノ奏法の基礎を身に付けるための授業を行います。また、そのために必要な読譜の訓練も丁寧に行います。
・弾き歌いや連弾にも取り組みます。
・ソルフェージュを通して「歌う」「弾く」「聴く」「合わせる」の多方面から音楽に親しみ、じっくり味わうことを目指します。

2　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、読譜や視唱・視奏・調音・ピアノの学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を正しく理解し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽作品や作曲家、演奏などを解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わう。
評価方法	観察 プリント	観察 プリント	演奏の聴取	観察 ワークシート 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1年を通して	楽譜の理解を深めよう	○楽典 ・読譜・コード・音楽用語・視唱・視奏・聴音　　他	○			○	a: 音楽の基礎理論の理解を深め、さらに新しい知識を習得するために主体的に取り組もうとしている。 d: 音階や音符・コードなどを学習し、生涯にわたって専門的な学習をするための読譜力等を付ける。	観察 プリント 小テスト
1学期	鍵盤楽器に慣れよう	【器楽】 ○鍵盤楽器の独奏 ・ピアノ(キーボード) ・演奏のための基礎練習1 指の形の説明・指ならし・ハ長調(逆進行・同進行)　他 ○鍵盤楽器の弾き歌い ・ピアノ(キーボード) 「ぶんぶんぶん」「かっこう」「メリーさんのひつじ」「ちょうちょう」「たなばたさま」 他	○	○	○	○	a:楽器演奏の基礎を学ぶ楽しさを知り、楽器に関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 楽器の特徴を理解し、旋律・リズム・速度など音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受し、曲を演奏することができる。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝える為の技能を身に付けている。 d:他の生徒の演奏を鑑賞し、工夫していた所、よかった・よりよくするためにはどうすればいいのかを考え、発表・評価する。	観察 演奏の聴取 プリント
	音と映像を味わおう	【鑑賞】 ○「ファンタジア」	○			○	a:管弦打で扱われる楽器の音色や特徴、仕組みと表現上の効果とそれらからイメージされる映像に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	鍵盤楽器を学ぼう	【器楽】 〇鍵盤楽器の独奏 ・ピアノ(キーボード) ・演奏のための基礎練習2 指ならし・音階・左手の和音を掴む練習 〇鍵盤楽器の弾き歌い ・ピアノ(キーボード) 「チューリップ」「大きな栗の木の下で」「こいのぼり」「お正月」「むすんでひらいて」他	〇	〇	〇	〇	a:演奏する喜びを味わい、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の特徴を理解し、旋律・リズム・速度など音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受し、曲を演奏することができる。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝える為の技能を身に付けている。 d:他の生徒の演奏を鑑賞し、工夫していた所、よかった・よりよくするためにはどうすればいいのかを考え、発表・評価する。	観察 演奏の聴取 プリント
	連弾を楽しもう	【器楽】 〇鍵盤楽器の連弾 ・ピアノ(キーボード) ・「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」「ハイ・ホー」「校歌」 他	〇	〇	〇		a:連弾に関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:他者との演奏の響きを知覚し、その働きが生み出す雰囲気や和声を感受しながら、どのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って演奏することが出来ている。	ワークシート

3学期	子どもの歌に親しもう	【鑑賞】 子どもの歌				○	d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察
	弾き歌いを楽しもう	【器楽】 ○鍵盤楽器独奏 ・ピアノ(キーボード) 「世界にひとつだけの花」「旅立ちの日に」「翼をください」 ○アンサンブル 「Over the rainbow」	○	○	○		a:演奏する喜びを味わい、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の特徴を理解し、旋律・リズム・速度など音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受し、曲を演奏することができる。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝える為の技能を身に付けている。	観察 プリント 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。